

丹波市いじめ・暴力ゼロ市民運動強化月間(11月)

本校の「いじめ・暴力ゼロ」の取組

本紙9月号でもお話ししましたように、丹波市では、11月を「いじめ・暴力ゼロ市民運動強化月間」と位置づけ、保護者や地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、市内各校で「いじめ・暴力ゼロ」の取組を進めています。

各校ともに10月末から、校舎には、丹波市教育委員会作成の懸垂幕「丹(まごころ)く支え合いでつながる笑顔」を掲げています。本校では、8月30日(土)の「丹波市いじめ・暴力ゼロサミット」を受けて、次のようなことに取り組んできました。



▲玄関上に掲げたスローガン

いじめ・暴力ゼロ市民運動「標語」をつくらう!

6月に丹波市教育委員会から標語の募集があり、夏休みの課題で標語づくりに取り組んだ子どもでしたが、2学期になって最初

の児童集会で、児童会役員が呼びかけて全校で標語づくりに取り組みました。子どもたちが考えた作品を応募したところ、「4年生以下の部」で、次の2人の作品が、最優秀賞、優秀賞に選ばれました。

いじめ・暴力ゼロ市民運動「標語」(小学4年生以下の部)

- 最優秀賞
4年 塚原まりんさんの作品 「えがおだね みんながわらうと 花が咲く」
- 優秀賞
4年 山内智揮さんの作品 「いじめゼロ そんな学校 作ろうよ」

最優秀賞の塚原まりんさんの作品は、丹波市教育委員会作成の啓発ポスターに

も掲載されており、校内に掲示しています。

本校では、2人の作品に込められた願いをみんなの願いとして共有し、実現するように、全力で学校・学級づくりに取り組んでいます。

「ほんわかことば」を集めよう!

「丹波市いじめ・暴力ゼロサミット」では、他校の実践発表があり、「ほんわかことば」「チクチクことば」のお話を聞かせてもらいました。



▲職員室前の「ほんわかことば」の掲示

「ほんわかことば」とは、言われてうれしくなるような言葉、相手の心があたたかくなるような言葉です。「チクチクことば」とは、言われて悲しくなるような言葉、相手の心が傷つくような言葉です。早速、本校でも、言われてうれしくなった「ほんわかことば」をいっぱい集めて、掲示することになりました。

毎日、「ほんわかことば」の花がいっぱい咲く学校になるように取り組んでいます。

言われてうれしくなった「ほんわかことば」

「がんばつとるなあ」「ファイト」「だいじょうぶ」「よくがんばつたなあ」「いっしょにがんばろうね」「ごめんさい」「がんばれ」「ありがとう」「じょうずだね」「いっしょにあそぼ」「いいよ」「どうしたん」「はいどうぞ」など

「楽しい学校生活を送るためのアンケート」

いじめや暴力のない学校・学級づくりを進めるために、定期的に子どもたちへのアンケート調査を実施しています。10月には「楽しい学校生活を送るためのアンケート」、11月には「いじめに係るアンケート」を実施しました。

全教職員の目で、子どもたちの日常の生活の様子を絶えず見守るとともに、アンケート等を用いて子どもたちの内面理解をするなど、多面的に子どもを理解するよう努めています。

「1つ1つの学校行事を通して「豊かな心」を育てる。」

実りの秋。子どもたちは、様々な学校行事に取り組み、一つ一つの行事をやり遂げることで確実に心も体も成長しています。

11月15日(土)、保護者や地域の皆様にご来校いただき、「輝く遠阪

つ子発表会」を開催することができました。みんなが心を一つにし、心を合わせ、心を込めて取り組んだ「輝く遠阪つ子発表会」。各学年ともに、これまで積み重ねてきた練習の成果を力いっぱい発揮し発表することができました。子どもたちは、やり切ったという気持ちで一杯になったことでしょう。文字どおり、「輝く遠阪つ子」を目で、耳で、そして心で感じ取ることができた機会となりました。

11月21日(金)には、「丹波市小学校連合音楽会」(参加対象…各校6年生)が開催されました。複式学級の本校は、5、6年生12名が参加しました。5、6年生は、これまで取り組んできた集大成として、合奏曲「あとひとつ」を演奏し、取組の成果を堂々と発表することができました。一つのことに取り組んだ期間、過程(プロセス)が長ければ長いほど、やり遂げた時の達成感、充実感はひとしおです。子どもたちはこのことを実感したのではないのでしょうか。まさに、子どもたちの「実り」を実感できる瞬間に立ち会うことができました。

11月の「いじめ・暴力ゼロ市民運動強化月間」は、子どもたちの成長に数多くの「実り」をもたらしながら過ぎていきます。



もうすぐ12月。2学期の締めくくりに向かいます。